

平成30年1月27日

学校関係者評価委員 様

さいたま市立芝川小学校
校長 石川 顕一

平成29年度 学校評価集計

4 : よくあてはまる 3 : ややあてはまる
2 : あまりあてはまらない 1 : まったくあてはまらない

H29 (%) / H28 (%)

1. 保護者回答(回収率 78/71%)

人数の割合を百分率で表しています。四捨五入の関係で合計が100%にならない項目があります↓

	項 目	4	3	2	1
1	学校は、児童が基礎学力を身に付けるために、きめ細かな指導や効果的な指導を行っていると思いますか。(かしこく)	41/44	56/52	3/4	0/0
2	学校は、あいさつの指導等、礼儀正しくはじめある生活態度の育成に努めていると思いますか。(ただしく)	47/45	48/48	4/6	0/0
3	学校は、児童の体力を伸ばすために適切な指導を行っていると思いますか。(たくましく)	47/46	48/51	4/3	0/0
4	学校は、人権を尊重し、友達と仲良く生活するように取り組んでいると思いますか。(ゆたかに)	48/46	49/50	3/4	0/0
5	学校は、児童理解を深め、一人一人を大切にしたい学校や学年、学級づくりに取り組んでいると思いますか。	46/44	50/51	4/5	0/1
6	学校は、学校内外での児童の安全対策や危険防止のための指導に取り組んでいると思いますか。	56/46	39/48	5/6	0/0
7	学校は、ホタル飼育をはじめ、特色ある教育活動を行っていると思いますか。	77/72	23/26	1/2	0/0
8	学校は、授業参観や学校公開、学校行事等を設定するなど、保護者や地域の方との相互理解に努めていると思いますか。	65/63	33/35	2/3	0/0

○児童についての回答

	項 目	4	3	2	1
9	お子さんは、学校に行くのが楽しいと言っていますか。	61/56	34/35	3/8	1/1
10	お子さんは、授業が楽しくわかりやすいと言っていますか。	48/41	46/51	6/7	1/1
11	お子さんは、学校での様子や出来事についてよく話しますか。	43/43	40/37	16/18	2/2
12	お子さんは、きちんとしたあいさつや返事ができていると思いますか。	21/22	58/54	19/21	1/2

2. 児童回答

	項 目	4	3	2	1
1	あなたは、学校に来るのが楽しいと思いますか。	63/56	31/34	4/6	1/4
2	あなたは、じゅぎょうが楽しくわかりやすいと思いますか。	61/49	32/38	5/11	1/3
3	あなたは、学校でのようすやできごとについて、おうちの人によく話していると思いますか。	46/45	32/29	14/18	8/9
4	あなたは、きちんとしたあいさつやへんじをしていると思いますか。	54/49	38/39	7/11	1/2

○「あなたは、学校に来るのが楽しいと思いますか。」の質問について

「4」または「3」を選んだ理由（複数回答）		「2」または「1」を選んだ理由（複数回答）	
① 友達	32/34	① 友達	50/38
② 休み時間	27/28	② 休み時間	13/14
③ 給食	21/19	③ 給食	9/20
④ 授業	20/19	④ 授業	28/28

○学校に来るのが楽しい理由（◎） 楽しくない理由（△）

1年生	◎掃除が楽しい ◎給食当番が楽しい ◎日直が楽しい ◎係が楽しい ◎友達がつくれる ◎本を読める
2年生	◎いろいろな行事がある ◎みんなと遊べる ◎遠足がある ◎給食がおいしい ◎力がつく ◎何か楽しい ◎いろいろなことができる ◎友達と遊べる ◎先生が面白い ◎説明がうまい ◎みんながいる ◎みんなが面白い ◎図工 ◎音楽 ◎芝川まつりとかがある ◎友達と遊ぶ ◎友達と勉強できる ◎みんなで授業するのが楽しい ◎生活 ◎図工が楽しい ◎図書室 ◎休み時間 ◎楽しみに待っていることばかり ◎授業が楽しい △登校の時いやなことがある △気の合う友だちがいない △物をとられる
3年生	◎発表することが楽しい ◎作文が勉強になる ◎体育が楽しい ◎教室で自由帳が楽しめる ◎理科が楽しい ◎みんなと授業ができる ◎授業が分かりやすい ◎みんなが優しい ◎図工と社会が楽しい ◎登校が楽しい ◎リレーや大縄ができると楽しい ◎体育が楽しい ◎いろいろな授業が楽しい ◎友達と遊べる ◎図書室が楽しい、たくさん本を読める ◎分からないこと、できなかったことができるようになる ◎親友がいたり友だちがいたりして安心する △授業が簡単すぎる △下校が一人でさみしい △めんどくさい △同じことを繰り返し聞かれる △いじめられたりいたずらされたり悪口を言われたりする（学童） △まわりがうるさい
4年生	◎友達が優しい ◎みんなが頼もしい ◎本がある ◎友達が優しい ◎授業が面白く楽しい ◎行事がある ◎芝川まつりなどがあって楽しい ◎社会科見学が楽しい ◎好きな授業がある ◎本がたくさん読める ◎明るいクラス ◎みんなほめる時が多い ◎先生が時々盛り上げてくれる ◎いろいろな人が話しかけてくれる ◎いろいろな行事がある ◎先生の誕生日会やパーティがあって面白い ◎先生が優しく面白くてわかりやすい △登校のこと △先生が掃除中うるさい △朝起きるのが大変
5年生	◎金管 ◎授業 ◎駅伝 ◎クラス ◎先生が面白く楽しい ◎登下校が楽しい ◎授業が分かりやすい ◎仲良くしてくれる ◎相談ができる ◎話すのが楽しい ◎ドラム練習 ◎クラブ ◎遊ぶのが楽しい ◎クラスが盛り上がっている ◎おしゃべり相手がいる ◎先生が面白い ◎明るいクラス ◎係活動が楽しい ◎すべて楽しい △いやではないけど楽しくもない
6年生	◎金管バンドが楽しい ◎安心できる・ポジティブになれる ◎クラブが楽しい ◎先生がいい ◎委員会・クラブ ◎家庭科・図工がある ◎先生のボケが面白い ◎帰り道が楽しい ◎ダジャレを言うのが楽しい △面倒だけど中には楽しい授業もあり友達と会えるので少しは楽しい

3. 教職員回答

	項 目	4	3	2	1
1	学校は、児童が基礎学力を身に付けるために、きめ細かな指導や効果的な指導を行っていると思いますか。(かしこく)	57/44	43/56	0/0	0/0
2	学校は、あいさつの指導等、礼儀正しくけじめある生活態度の育成に努めていると思いますか。(ただしく)	40/30	60/67	4/3	0/0
3	学校は、児童の体力を伸ばすために適切な指導を行っていると思いますか。(たくましく)	70/63	30/37	0/0	0/0
4	学校は、人権を尊重し、友達と仲良く生活するように取り組んでいると思いますか。(ゆたかに)	67/56	33/44	0/0	0/0
5	学校は、児童理解を深め、一人一人を大切にしたい学校や学年、学級づくりに取り組んでいると思いますか。	73/63	27/37	0/0	0/0
6	学校は、学校内外での児童の安全対策や危険防止のための指導に取り組んでいると思いますか。	57/37	43/59	0/0	0/0
7	学校は、ホタル飼育をはじめ、特色ある教育活動を行っていると思いますか。	80/74	20/26	0/0	0/0
8	学校は、授業参観や学校公開、学校行事等を設定するなど、保護者や地域の方との相互理解に努めていると思いますか。	80/67	20/33	0/0	0/0

平成29年度 さいたま市立芝川小学校 自己評価書

校長 石川 顕



1 学校で設定した「平成29年度の目標」及び関係する「評価項目」について

教育目標 かしこく・ただしく・たくましく・ゆたかに

経営方針 目指す学校像「輝く笑顔 学ぶ意欲あふれる学校」

- (1) 組織的に活動する学校
- (2) 笑顔あふれ、節度ある学校
- (3) 磨き合い、高め合い、学び合う学校

関係する評価項目 ①きめ細かな学習指導・効果的な指導（かしこく）

②礼儀正しくけじめのある生活態度の育成（ただしく）

③体力向上（たくましく）

④人権尊重（ゆたかに）——いじめ防止

⑤児童理解 ——いじめ防止

⑥安全対策・危険防止

⑦特色ある教育活動

⑧学校公開等の相互理解

2 評価結果について

上記8項目とも、プラス評価が9割を超え、例年同様、概ね良好な結果をいただくことができた。

体力向上に関しては、研修を積み重ねることが教職員の自信につながっている。また、子どもたちの体育への取組にも少しずつ変化が見られる。

児童・保護者の回答からは、「学校が楽しい」「授業が楽しい、わかりやすい」という意見が多く聞かれた。学校が楽しい理由として、「安心できる」「ポジティブになれる」「みんなを（お互いを）ほめることが多い」「すべて楽しい」という回答も見られた。「自己肯定感」、「自己有用感」を高めることを目指した研修の成果と考えている。

いじめ防止に関しては、人権尊重や児童理解の重要性について、教職員に浸透していることがうかがえた。「学校が楽しい」という思いがさらに広がるよう、素早い対応と情報共有に留意し、児童に寄り添っていきたい。

全国学習状況調査の結果からは、アクティブ・ラーニング型、課題解決型の授業が展開されていることが分かった。また、ここでも、自己肯定感の高まりにつながるアンケート結果が見られた。

教職員・保護者・地域の皆様ともに、あいさつのあり方についての意見が多く見られた。あいさつする児童の数は増加傾向にあるが、声の大きさや相手の目を見てのあいさつ等、あいさつのしかたについて指導を続ける必要がある。また、安全についての意識を高める指導も続ける必要がある。

学習面においては、楽しみながら自信をもって学習を進めることや、書くことについての指導を進めていきたい。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

①学校課題研修のテーマに基づき、「自己肯定感」「自己有用感」を高める学級経営・学習指導を継続する。

②基礎基本の定着を高めるための学習指導を、学習指導の中に位置づけ、継続的に指導するとともに、小・中一貫教育の研究成果に基づいた学習案内を発行し、9年間の連続性に留意した学習指導を行っていく。

③あいさつの指導について、児童会活動との連携を図り、より児童の心に訴えかける指導を行う。

④安全指導に関しては地域・保護者等にも呼びかけ、連携の充実を図るとともに、児童一人ひとりが自分の命は自分で守るという意識を高める指導を引き続き行う。



1. 学校関係者評価の実施体制

(1) 委員の構成

委員は、幼・中・高・大学の指導者、自治会長、地域関係団体や保護者の代表10名である。

(2) 委員会の実施状況

各委員は公開授業や学校行事の参観、儀式への参加、校長先生との懇談を適宜実施した。

評価委員会の全体会は年間3回実施し、学校の取組や課題について活発に議論した。また、会議には議題に応じて関係する教職員も加わり、議論を深めることができた。

2. 学校評価について

(1) 学校評価のねらいや方法

- ① 本校では、学校評価を自校の実態把握や課題発見のための重要な手段と捉え、計画的に実施している。そして、緊急性の高い問題にはすぐに取り組むとともに、評価結果を次年度の学校経営に生かしている。
- ② 評価項目や評価方法を精査し、教職員や保護者、児童ごとの比較やそれぞれの経年変化が分かるよう工夫している。また、記名式で自由記述も取り入れ、要望や意見を幅広く聞いている。

(2) 学校評価の結果について

- ① 「教育活動」を問う8つの全ての項目で、教職員・保護者とも、プラス評価の「4」「3」が増え、高い評価を得た。経年変化を見ても、ここ数年の最高値に達した。また、評価委員も同様の高評価をしている。
- ② 「学校生活」に関しても、保護者・児童とも「4」「3」の評価が9割に達している。
- ③ 以上のような良い評価が得られたのは、校長先生の明確な指導方針のもと、教職員が一丸となって児童の指導に当たっているからだと言える。その結果、
 - ・児童は、友達や先生と楽しい学校生活を送り、多くの学びを体験している。
 - ・教職員は、自己研鑽に努めて日々の実践に取り組み、その成果が上がってきたことを実感している。
 - ・保護者は、子どもを安心して学校に預け、教育活動が充実していることに満足している。
 - ・地域の人々は、学校を信頼し、よく協力している。細部事項については、学校側で更に分析・検討し、次年度以降の取組に生かしてもらいたい。

(3) 委員の意見

- ① 学校の情報発信が適切で、学校の様子が保護者や地域住民にもよく分かる。
 - ・授業公開や学校行事の案内と参加の呼びかけ
 - ・学校日より、HPによる学校の方針や教育活動のお知らせ
- ② 学校と保護者や地域の連携がよく取れている。
 - ・PTAやおやじの会の幅広い活動は、教育活動の支援や児童の安全指導で大きな成果を上げている
 - ・地域の方々は、児童の見守りやチャレンジスクールの運営等に理解があり、非常に協力的である。
- ③ 学校の業務の中に、保護者や地域に委ねたいものがあれば、任せてもいいのではないかと。地域の関係団体もできるだけ支援をしたいので、学校は遠慮せずに情報の提供や協力の要請をしてほしい。
- ④ 「道徳」「英語」の新たな導入をはじめ、学校現場には様々な課題が持ち込まれ、その対応に追われている。教師の多忙化が叫ばれて久しいが、そこは全校で工夫し、教師が一番身近にいる児童一人ひとりを大切に、愛情を注ぎ込むことを忘れないでほしい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

引き続き、学校、保護者、地域相互の連携を深めるとともに、児童一人ひとりを理解し、
適切な指導・支援を第一に教育活動を進めていく。 さいたま市立芝川小学校校長 石川 剛

